



2019年2月8日

各位

会社名 株式会社 ゼロ
 代表者名 代表取締役社長 北村 竹朗
 (コード番号: 9028、東証第2部)
 問合せ先 取締役グループ戦略本部長 高橋 俊博
 (TEL. 044-520-0106)

業績予想の修正並びに剰余金の配当(中間配当)の決定に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2018年8月10日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、2018年12月31日を基準日とする剰余金の配当(中間配当)についても決議いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正(2018年7月1日～2019年6月30日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社株主に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
前回発表予想(A)	百万円 84,000	百万円 4,300	百万円 4,280	百万円 2,200	円 銭 132.56
今回修正予想(B)	89,000	4,300	4,280	2,200	132.56
増減額(B-A)	5,000	—	—	—	—
増減率(%)	6.0	—	—	—	—
(参考)前期連結実績 (2018年6月期)	81,376	4,116	4,094	2,129	128.33

(修正の理由)

本日公表の「2019年6月期第2四半期決算短信」に記載の当第2四半期連結累計期間の業績は、前年同期比で、売上収益は増収となりましたが、営業利益、税引前利益は大幅減益、四半期利益は損失となりました。

通期の見通しにつきましては、売上収益は、当社グループの主力セグメントである自動車関連事業において事業環境が堅調に推移していること、また中古車輸出が好調に推移していることから、通期連結業績予想の見直しを行いました。

一方、利益は、上半期は自動車関連事業において消費税増税前の駆け込み需要に対応するため輸送力の増強に努めることや、労務費の上昇、燃料費の高騰等で費用が増加しましたが、下半期は輸送台数の増加に加え、輸送料金改定や収益改善に向けた取組みの効果等により、下半期偏重型の業績を見込んでいることから、通期連結業績予想を据え置きました。

2. 剰余金の配当(中間配当)の決定及び期末配当予想の修正について

(1) 剰余金の配当(中間配当)の決定内容

	決 定 額	直近の配当予想 (2018年8月10日公表)	前期実績 (2018年6月期)
基準日	2018年12月31日	2018年12月31日	2017年12月31日
1株当たり配当金	4円	15円	15円
配当金総額	67百万円	—	252百万円
効力発生日	2019年3月11日	—	2018年3月12日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 期末配当予想の修正内容

	年間配当金		
	第2四半期末(中間)	期末	年間
前回予想	15円00銭	18円10銭	33円10銭
今回修正予想	—	29円10銭	33円10銭
当期実績	4円00銭		
前期実績 (2018年6月期)	15円00銭	17円10銭	32円10銭

(3) 決定及び修正の理由

中間配当金につきましては、当社の利益配分の基本方針に従い、4円とさせていただきます。一方、通期連結業績予想の利益は変更致しませんので、年間配当金につきましては、1株当たり33円10銭を維持させていただきます。

(注)上記の業績及び配当予想数値は、現時点において得られた情報に基づき算出したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって変動する可能性があります。

以上